

Profile

若林 颯 (ピアノ) Akira Wakabayashi (Piano)



©Wataru Nishida

東京藝術大学で田村宏氏に、さらにザルツブルク・モーツァルテウムやベルリン芸術大学でハンス・ライグラフ氏らに学んだ若林は、1982年第51回日本音楽コンクールピアノ部門第2位。1985年、第37回ブゾーニ国際ピアノコンクール第2位入賞。さらに1987年には弱冠22歳でエリーザベト王妃国際コンクール第2位受賞の壮挙を果たし、一躍脚光を浴びた。

その後、国内外の多数のオーケストラとの共演や全国各地でのリサイタルなど、多忙な演奏活動を展開している。2002年にニューヨーク・カーネギーホール(ワイル・リサイタル・ホール)で鮮烈なリサイタル・デビューを果たし、カナダ・トロントにおける Music Toronto Chamber Music Series やシカゴでのマイラヘス=リサイタル・シリーズにて大成功を収めて再招聘されるほか、フランス・ナントにおける音楽祭『ラ・フォル・ジュルネ』、ス

トックホルムにおけるアモリナ・リサイタルシリーズなどにも出演。また、英国マンチェスターの「ノーザン・カレッジ・オブ・ミュージック」でマスタークラスを行うなど、活動領域を着実に拡大している。共演したオーケストラは、NHK交響楽団をはじめとする国内の主要なオーケストラのほか、ベルリン交響楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、ロシア・ナショナル交響楽団、エーテボリ交響楽団、ノールショピング交響楽団、リンブルク交響楽団、パドゥルー管弦楽団、スコットランド室内管弦楽団といった海外の名門オーケストラも多数。その中には、ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー、ゲルト・アルブレヒト、アレクサンドル・ラザレフ、ダニエル・ハーディング、オスモ・ヴァンスカ、ウラディーミル・スピヴァコフ、ゲルハルト・ボッセ、ヘルムート・ヘンヒェンといった名指揮者との共演も多い。

室内楽の分野でもコリア・ブラッハー、スティーブン・イッサーリス、堤剛、カール・ライスター、フランソワ・ルルー、ラデク・バボラク、ライプツィヒ弦楽四重奏団、ウィーン八重奏団など、内外の名手達と数多く共演して好評を博しており、さらにその延長として、弾き振りによる協奏曲演奏でも注目を集めている。また、近年は妻でもあるヴァイオリニスト鈴木理恵子との共演を重ねており、作品の本質に迫る深い音楽性が各地できわめて高い評価を受けている。

レコーディングはこれまでにデンオン、ライヴノーツ、オクタヴィアなどのレーベルからリリースしている。2013年春に鈴木理恵子との共演による「ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ全3曲」(キングインターナショナル)を発表。また、同年秋リリースの「ラフマニノフ：ピアノ・ソナタ第2番、前奏曲」、2014年1月リリースの「ベートーヴェン：3大ピアノ・ソナタ」(両盤ともオクタヴィア・レコード)は、共にレコード芸術・特選盤となる。その後も、鈴木理恵子とのデュオによる「シューベルト：ヴァイオリン・ソナタ集 Vol.1(共にレコード芸術準特選盤)Vol.2(レコード芸術特選盤)」、「チャイコフスキー：くるみ割り人形(ピアノ独奏版・世界初録音・レコード芸術特選盤)」、「リスト：ピアノ作品集」(レコード芸術特選盤)、「チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番(ラザレフ指揮日本フィルとのライヴ)」(以上いずれもオクタヴィア)と、続々とCDが発表されている。

2014年1月と2016年1月には、サントリーホール(大ホール)でソロ・リサイタルを行い、大きな反響を得た。その模様はNHK-FM「ベスト・オブ・クラシック」でも放送された。

持続音を保持できない特性を持つピアノで、ピアノの限界を超えた“エスプレッシーヴォ(表情豊かに)”や“カンタービレ(歌うように)”を表現するために、あるいは巨大なオーケストラのみに可能な真の爆裂を表現するために、そしてどんな微かな音にも宇宙を宿すために、若林颯はひたすら理想の音楽を思い描き、音を追及する。多彩で深い音色、豊かで奥行きのある音楽表現は真のヴィルトゥオーゾのみが紡ぎだせるものである。

1992年出光音楽賞、1998年モービル音楽賞奨励賞、2004年ホテルオークラ賞受賞。現在、桐朋学園大学・大学院特任教授、国立音楽大学招聘教授。

オフィシャル HP <http://www.wakabayashi-akira.com/>

※やむを得ない事情により、曲目等に変更のある場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※小学校入学前のお子様の入場はご遠慮ください。

※ルネこだいらにはお客様のための駐車場がありませんので、ご来場には公共の交通機関等をご利用ください。

※2階席をご利用の場合、エレベーターはございません。階段のみのご利用になりますので予めご了承ください。

※開演時間を過ぎますとご入場をお待ちいただく場合がございます。

※車いすのまま鑑賞を希望される方は、車いす専用の席がございますので、チケットは必ず「ルネこだいらチケットカウンター」にてお求めください。

チケット郵送サービス

電話予約後、チケット代に送料手数料100円を加算して郵便振替でお支払ください。入金確認後チケットを郵送いたします。

〈郵便振替〉加入者名：ルネこだいら 口座番号：00100-4-10291

※住所・氏名(フリガナ)・電話番号を明記し、通信欄に公演名と枚数をご記入ください。

※郵便振替の振込手数料はお客様負担になります。